

#2 11-6-01
Priority Papers
PATENT
8001-1012

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Tetsuya YAMASHITA Conf.:
Appl. No.: **NEW** Group:
Filed: March 7, 2002 Examiner:
For: SYSTEM DATA SHARING MANAGEMENT SYSTEM
IN LAN TELEPHONE SYSTEM

10/091468
03/07/02
10/091468
03/07/02

CLAIM TO PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

March 7, 2002

Sir:

Applicant(s) herewith claim(s) the benefit of the priority filing date of the following application(s) for the above-entitled U.S. application under the provisions of 35 U.S.C. § 119 and 37 C.F.R. § 1.55:

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2001-065663	March 8, 2001

Certified copy(ies) of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

Respectfully submitted,

YOUNG & THOMPSON

Benoit Castel

Benoit Castel, Reg. No. 35,041

745 South 23rd Street
Arlington, VA 22202
Telephone (703) 521-2297

BC/ma

Attachment(s): 1 Certified Copy(ies)

日 本 国 特 許 庁

JAPAN PATENT OFFICE

cece U.S. PRO
10/091468
03/07/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 3月 8日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-065663

[ST.10/C]:

[JP2001-065663]

出 願 人

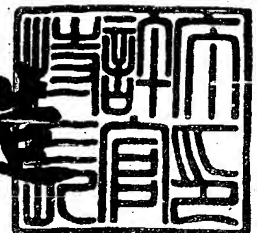
Applicant(s):

日本電気株式会社

2002年 1月11日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3113957

【書類名】 特許願

【整理番号】 41810198

【提出日】 平成13年 3月 8日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
 日本電気株式会社内

 【氏名】 山下 哲弥

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100086759

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 渡辺 喜平

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 013619

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9001716

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 LAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 LAN伝送路に接続されている複数の端末装置と、各端末装置のシステムデータを管理する端末管理装置とから成るLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムであって、

LAN電話システムの運用のためのシステムデータの少なくとも一部が、各端末装置と端末管理装置で共有化されており、

各端末装置が、共有化されているシステムデータの変更を行なうことができることを特徴とするLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項2】 システムデータが、管理者データ、共有データおよび端末データに分類されており、

管理者データが、端末管理装置によってのみ変更可能であり、

共有データが、端末管理装置および各端末装置により変更可能であって、

端末データが、各端末装置によってのみ変更可能である

ことを特徴とする請求項1に記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項3】 上記管理者データが、システム全体の設定を行なうデータであることを特徴とする請求項2に記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項4】 上記共有データが、システムに影響せず、各端末装置における呼制御の設定を行なうデータであることを特徴とする請求項2に記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項5】 上記端末データが、システムおよび呼制御に影響せず、各端末装置における端末独自の設定を行なうデータであることを特徴とする請求項2に記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項6】 上記共有データが端末管理装置または端末装置により変更された場合、変更された共有データが、端末装置または端末管理装置に対して通知

されることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項 7】 上記管理者データが端末管理装置により変更された場合、変更された管理者データが各端末装置には通知されず、各端末装置の再立ち上げの際に端末装置が管理者データをダウンロードして更新することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項 8】 上記端末データが端末装置により変更された場合、変更された端末データが端末管理装置には通知されないことを特徴とする請求項 1, 2 または 5 のいずれかに記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項 9】 各端末装置が、再立ち上げの際に、端末管理装置から端末データのデフォルト値をダウンロードして、端末データの初期化を行なうことを特徴とする請求項 1, 2, 5 または 8 のいずれかに記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【請求項 10】 上記各端末装置が、ネットワークコンピュータであることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、LAN 電話システムを運用するために必要なシステムデータの共有管理のための技術に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、LAN 伝送路に接続されている複数個の端末装置と、LAN 電話システムの運用のためのシステムデータを有する端末管理装置とから成るいわゆる LAN 電話システムが知られている。

このような LAN 電話システムは、例えば特開平 6 - 2 3 7 4 8 2 号に開示さ

れており、LAN電話システムの運用に必要なシステムデータは、端末管理装置としてのサーバにより一元管理されている。

【0003】

すなわち、このLAN電話システムにおいては、システムデータを一時的にサーバ側でアップロードしておき、システムデータの変更は、サーバ側からのみ行なうようになっている。

そして、このように適宜にアップロードされあるいは変更されたシステムデータは、その後各LAN電話端末がそれぞれダウンロードすることにより、各LAN電話端末にて有効となるようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このようなLAN電話システムにおいては、LAN電話端末側からはシステムデータの変更を行なうことができなかった。

これは、システムデータを共有化していないので、各LAN電話システムからはシステムデータにアクセスすることができず、サーバ側からのみシステムデータにアクセスして変更できるようにしているためである。

【0005】

本発明は、上記の問題を解決すべくなされたものであり、各LAN電話端末にてシステムデータの変更を行なうことができるようにしたLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムの提供を目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するため、本発明の請求項1記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、LAN伝送路に接続されている複数個の端末装置と、各端末装置のシステムデータを管理する端末管理装置とから成るLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムであって、LAN電話システムの運用のためのシステムデータの少なくとも一部が、各端末装置と端末管理装置で共有化されており、各端末装置が、共有化されているシステムデータの変更を行なうことができる構成としてある。

【0007】

LAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、各端末装置が、例えばシステム全体の設定を行なうデータ以外のシステムデータの一部を変更することができるので、システム管理者でなくても、システムデータを容易に変更することができ、利便性が向上することになる。

【0008】

請求項2記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、システムデータが、管理者データ、共有データおよび端末データに分類されており、管理者データが、端末管理装置によってのみ変更可能であり、共有データが、端末管理装置および各端末装置により変更可能であって、端末データが、各端末装置によってのみ変更可能である構成としてある。

【0009】

LAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、端末管理装置が、システムデータのうち管理者データおよび共有データを変更することができると共に、各端末装置が、システムデータのうち共有データおよび端末データを変更することができる。

これにより、管理者データは、端末管理装置によってのみ変更でき、各端末装置によっては変更することができない。

また、共有データを各端末装置が変更できることになり、さらに各端末装置固有の端末データについては、各端末装置のみが変更でき、端末管理装置によっては勝手に変更されてしまうようなことがない。

【0010】

請求項3記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、上記管理者データが、システム全体の設定を行なうデータである構成としてある。

請求項4記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、上記共有データが、システムに影響せず、各端末装置における呼制御の設定を行なうデータである構成としてある。

請求項5記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システム

は、上記端末データが、システムおよび呼制御に影響せず、各端末装置における端末独自の設定を行なうデータである構成としてある。

【0011】

LAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、システムおよび呼制御に影響するようなシステムの設定を行なうデータについては、端末管理装置が変更できると共に、呼制御および各端末装置における端末独自の設定を行なうデータについては、各端末装置が変更できる。

また、システムに影響するようなシステムの設定を行なうデータについては、各端末装置が変更することができない。

さらに、端末独自の設定を行なうデータについては、端末管理装置が変更することができない。

【0012】

請求項6記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、上記共有データが端末管理装置または端末装置により変更された場合、変更された共有データが、端末装置または端末管理装置に対して通知される構成としてある。

LAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、共有データが端末管理装置または端末装置により変更された場合、相手方である端末装置または端末管理装置に対して通知されることにより、共有データが常に更新されることになる。

【0013】

請求項7記載のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、上記管理者データが端末管理装置により変更された場合、変更された管理者データが各端末装置には通知されず、各端末装置の再立ち上げの際に端末装置が管理者データをダウンロードして更新する構成としてある。

LAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、管理者データの変更は、各端末装置ではその都度認識する必要がないので、各端末装置には通知されず、各端末装置の再立ち上げの際に、管理者データが、自動的にダウンロードにより更新される。

【 0 0 1 4 】

請求項 8 記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、上記端末データが端末装置により変更された場合、変更された端末データが端末管理装置には通知されない構成としてある。

LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、各端末装置における端末独自に設定される端末データについては、端末管理装置は把握する必要がないので、端末管理装置には通知されない。

【 0 0 1 5 】

請求項 9 記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、各端末装置が、再立ち上げの際に、端末管理装置から端末データのデフォルト値をダウンロードして、端末データの初期化を行なう構成としてある。

LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、端末管理装置が端末独自に設定された端末データを有しておらず、デフォルト値のみを有しているので、各端末装置は、再立ち上げの際には、端末管理装置から端末データのデフォルト値をダウンロードすることにより、端末データの初期化を行なう。ここで、各端末装置は、再び端末データの変更を行なうことにより、変更した端末データが再立ち上げを行なうまでは有効となる。

【 0 0 1 6 】

請求項 1 0 記載の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムは、上記各端末装置が、ネットワークコンピュータである構成としてある。

LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムをこのような構成とすると、各端末装置としてネットワークコンピュータを使用することもできる。

【 0 0 1 7 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。

まず、本発明の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムの一実施形態について、図 1 乃至図 9 を参照して説明する。

図 1 は、本実施形態によるシステムデータ共有管理システムが利用される LA

N電話システムの構成を示すブロック図である。

【0018】

図1に示すように、LAN電話システム10は、端末管理装置100と、複数の端末装置としてのLAN電話端末201～20nと、これらの端末管理装置100およびLAN電話端末201～20nを接続するLAN伝送路300と、を設けてある。

【0019】

上記端末管理装置100は、図2に示すように、電話端末制御部110と、サーバデータベース部120と、を備えている。

電話端末制御部110は、LAN電話端末の登録や電話操作の制御を行なうものである。

サーバデータベース部120は、LAN電話システムにおけるシステムデータ400（後述）の管理を行なうものである。

【0020】

ここで、上記システムデータ400は、図3（a）に示すように、三つのクラス、すなわちクラス1データ（管理者データ）410、クラス2データ（共有データ）420およびクラス3データ（端末データ）430に分類されており、LAN電話システム10は、これらのシステムデータ410、420、430に基づいて運用されるようになっている。

【0021】

上記クラス1データ410は、端末管理装置100によってのみ変更可能なデータであって、例えば当該LAN電話システム10において提供するサービスや番号計画等のシステム全体の設定を行なうものである。

【0022】

上記クラス2データ420は、端末管理装置100および各LAN電話端末201～20nによって変更可能なデータであって、図3（b）に示すように、各データ421～42nごとに、各LAN電話端末201～20nのLCD（発着信・通話中画面）やLED、ラインボタンへの番号割り当て、音声圧縮等のシステムには影響しないが呼制御には影響するものの設定を行なうようになっている。

【0023】

上記クラス3データ430は、各LAN電話端末201～20nによってのみ変更可能なデータであって、各LAN電話端末201～20nの着信音、LCD（待ち受け画面）等のシステムや呼制御には影響しない端末独自の設定を行なうものである。

【0024】

そして、上記サーバデータベース部120は、クラス1データ410と、各LAN電話端末201から20n毎にクラス2データ420の管理を行なうと共に、クラス3データ430については、デフォルト値のみを保有している。

【0025】

これに対して、LAN電話端末201～20nは、図4に示すように、それぞれ呼制御部210と、端末データベース部220と、を備えている。

なお、LAN電話端末201～20nは、それぞれLAN伝送路300に接続されたネットワークコンピュータであってもよい。

【0026】

呼制御部210は、端末管理装置100への登録や電話操作の制御を行なうものである。

端末データベース部220は、クラス2データ420およびクラス3データ430を管理し、クラス1データ410についてはデータを保有するのみで、変更処理を行なうことはできない。

また、クラス2データ420は、LAN電話端末201～20n毎に421～42nとしてデータを管理する。

【0027】

次に、本実施形態のLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムによるシステムデータ共有管理について、図5～図8のフローチャートを参照して説明する。

システムデータ共有管理システムは、図5に示すLAN電話端末立ち上げ時の動作、図6に示すLAN電話端末による共有データの変更作業、図7に示す端末

管理装置による共有データの変更作業、図8に示す管理者データの変更作業、そして図9に示す端末データの変更作業の各ステップで利用される。

【0028】

まず、LAN電話端末立ち上げ時の動作について、図5を参照して説明する。

図5において、まず、ステップA1にて、例えばLAN電話端末201がLAN伝送路300に接続される。

そして、LAN電話端末201は、ステップA2にて、LAN伝送路300を介して端末管理装置100に対して、登録要求を送信する。

これに対して、端末管理装置100は、LAN電話端末201から受信した登録要求により、ステップA3にて、当該LAN電話端末201の登録を行ない、その後ステップA4にて、LAN伝送路300を介して当該LAN電話端末201に対して登録成功の通知を送信する。

【0029】

その後、LAN電話端末201は、ステップA5にて、LAN伝送路300を介して端末管理装置100に対して、システムデータ要求を送信する。

これに対して、端末管理装置100は、受信したシステムデータ要求に基づいて、このLAN電話端末201に該当するシステムデータ400をサーバデータベース部120から読み出して、ステップA6にて、このシステムデータ400をLAN伝送路300を介して当該LAN電話端末201に対して送信する。

【0030】

そして、LAN電話端末201は、ステップA7にて上記システムデータ400をダウンロードする。このとき、システムデータ400は、全クラスのデータ410、420および430を含んでいる。

その後、LAN電話端末201は、ステップA8にて、ダウンロードしたシステムデータ400を、端末データベース部220に書き込む。

これにより、LAN電話端末201は、ステップA9にて、上記システムデータ400に基づいて、呼制御を含む電話機としての運用を行なう。

このようにして、LAN電話端末立ち上げが完了する。

【0031】

次に、LAN電話端末による共有データの変更作業について、図6を参照して通常運用中にLAN電話端末201により端末ラインボタンへの番号割り当ての変更を行なう場合について説明する。

図6において、まず、ステップB1にて、例えばLAN電話端末201で、LCDやキー操作によるコマンド操作により、端末ラインボタンへの番号割り当ての変更を行ない、端末データベース部220のシステムデータ400のうち、LAN電話端末201用のクラス2データ（共有データ）421を更新する。

その後、LAN電話端末201は、ステップB2にて、更新したクラス2データ421を、LAN伝送路300を介して端末管理装置100に対してアップロードする。

【0032】

これを受けて、端末管理装置100は、LAN電話端末201からのLAN電話端末201用クラス2データ421を受信して、ステップB3にて、サーバデータベース部120のシステムデータ400のうち、LAN電話端末201用クラス2データ（共有データ）421を更新する。

これにより、端末管理装置100のサーバデータベース部120とLAN電話端末201の端末データベース部220におけるクラス2データ（共有データ）421が整合することになる。

【0033】

次に、端末管理装置による共有データの変更作業について、図7を参照して説明する。

図7において、まず、ステップC1にて、端末管理装置100で、コマンド入力により、各LAN電話端末201～20n毎に、あるいは全LAN電話端末に関して、端末ラインボタンへの番号割り当ての変更を行ない、サーバデータベース部120のシステムデータ400のうち、対象となるLAN電話端末201～20nに関するクラス2データ（共有データ）420（421～42n）を更新する。

その後、端末管理装置100は、ステップC2にて、更新したクラス2データ420（421～42n）を、LAN伝送路300を介して対象となるそれぞれ

の LAN 電話端末 2 0 1 ~ 2 0 n 端末に対して送信する。

【 0 0 3 4 】

これを受けて、対象となる LAN 電端末 2 0 1 ~ 2 0 n は、それぞれ端末管理装置 1 0 0 からのクラス 2 データ 4 2 0 をダウンロードして、ステップ C 3 にて、端末データベース部 2 2 0 のシステムデータ 4 0 0 のうち、クラス 2 データ（共有データ） 4 2 0 を更新する。

これにより、端末管理装置 1 0 0 のサーバデータベース部 1 2 0 と対象となる LAN 電話端末 2 0 1 ~ 2 0 n の端末データベース部 2 2 0 におけるクラス 2 データ（共有データ） 4 2 1 ~ 4 2 n が整合することになる。

このようにして、端末管理装置による共有データの変更作業が完了する。

【 0 0 3 5 】

次に、管理者データの変更作業について、図 8 を参照して説明する。

図 8 において、まず、ステップ D 1 にて、端末管理装置 1 0 0 で、コマンド入力により、管理者データ 4 1 0 の変更を行ない、サーバデータベース部 1 2 0 のシステムデータ 4 0 0 のうち、クラス 1 データ（管理者データ） 4 1 0 を更新する。

その後、端末管理装置 1 0 0 は、特に緊急を要する場合には、更新したクラス 1 データ 4 1 0 を、LAN 伝送路 3 0 0 を介して LAN 電話端末 2 0 1 ~ 2 0 n 端末に対して送信するが、通常はこの時点では更新したクラス 1 データ 4 1 0 を各 LAN 電話端末 2 0 1 ~ 2 0 n には通知しない。

【 0 0 3 6 】

そして、各 LAN 電端末 2 0 1 ~ 2 0 n は、それぞれステップ D 2 にて再立ち上げの際に、ステップ D 3 にて、端末管理装置 1 0 0 からの更新されたクラス 1 データ 4 1 0 を含むシステムデータ 4 0 0 をダウンロードして、ステップ D 4 にて、端末データベース部 2 2 0 のシステムデータ 4 0 0 のうち、クラス 1 データ（管理者データ） 4 1 0 を更新する。

【 0 0 3 7 】

これにより、端末管理装置 1 0 0 のサーバデータベース部 1 2 0 と各 LAN 電話端末 2 0 1 ~ 2 0 n の端末データベース部 2 2 0 におけるクラス 1 データ（管

理者データ) 4 1 0 が整合することになる。

このようにして、管理者データの変更作業が完了する。

【 0 0 3 8 】

次に、端末データの変更作業について、図 9 を参照して説明する。

図 9 において、ステップ E 1 にて、例えば LAN 電話端末 2 0 1 で、LCD やキー操作によるコマンド操作により、端末データの変更を行ない、端末データベース部 2 2 0 のシステムデータ 4 0 0 のうち、クラス 3 データ (端末データ) 4 3 0 を更新する。

【 0 0 3 9 】

この場合、LAN 電話端末 2 0 1 は、更新したクラス 1 データ 4 3 0 を、LAN 伝送路 3 0 0 を介して端末管理装置 1 0 0 に対してアップロードしない。

なお、更新されたクラス 3 データ 4 3 0 は、当該 LAN 電話端末 2 0 1 において、再立ち上げるまでは有効である。

【 0 0 4 0 】

そして、LAN 電話端末 2 0 1 は、ステップ E 2 にて、再立ち上げされると、図 5 に示した LAN 電話端末立ち上げ時におけるステップ A 2 ~ A 7 と同様にし、ステップ E 3 にて、端末管理装置 1 0 0 からシステムデータ 4 0 0 を LAN 伝送路 3 0 0 を介して全クラスのシステムデータ 4 0 0 をダウンロードする。

【 0 0 4 1 】

そして、ステップ E 4 にて、LAN 電話端末 2 0 1 は、ダウンロードしたシステムデータ 4 0 0 を、端末データベース部 2 2 0 に書き込む。

これにより、LAN 電話端末 2 0 1 は、ステップ E 5 にて、上記システムデータ 4 0 0 に基づいて、呼制御を含む電話機としての運用を行なう。

【 0 0 4 2 】

この場合、端末管理装置 1 0 0 のサーバデータベース部 1 2 0 に登録されているシステムデータ 4 0 0 のうち、クラス 3 データ (端末データ) 4 3 0 はデフォルト値であるので、LAN 電話端末 2 0 1 の端末データベース部 2 2 0 に書き込まれたクラス 2 データ 4 3 0 もデフォルト値であり、以前に変更した端末データは反映されていない。

【0043】

したがって、LAN電話端末201における端末データも以前の更新した端末データに変更したい場合には、再びステップE1の処理を行なって、端末データを変更すればよい。

このようにして、端末データの変更作業が完了する。

【0044】

上述した実施形態においては、LAN電話端末201により、共通データおよび端末データを変更する場合について説明したが、これに限らず、他のLAN電話端末201～20nにより、共通データおよび端末データを変更することもできることは明らかである。

また、上述した実施形態においては、端末装置としてLAN電話端末201～20nが使用されているが、これに限らず、他の種類の端末装置やネットワークコンピュータであつてもよいことは明らかである。

【0045】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、端末管理装置だけでなく、各端末装置も、例えばシステム全体の設定を行なうデータ以外のシステムデータの一部を変更することができるので、システム管理者でなくても、システムデータを容易に変更することができ、利便性が向上することになる。

【0046】

また、システムデータを複数のクラスに分類して、システムデータのうち、必要なデータのみを共有化することによって、システムデータの端末管理装置または各端末装置による変更範囲を限定することにより、端末管理装置または端末装置側で勝手に変更されたくないデータや知る必要のないデータについて、変更できないようになっている。

【0047】

このようにして、本発明によれば、各LAN電話端末にてシステムデータの変更を行なうことができるようにしたLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施形態のシステムデータ共有管理システムが利用される LAN 電話システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 の LAN 電話システムにおける端末管理装置の構成を示すブロック図である。

【図 3】

(a) は、図 1 の LAN 電話システムにおける端末管理装置が管理する各 LAN 電話端末のシステムデータの構成例を示す図、(b) は、クラス 2 データ 4 2 0 の詳細図である。

【図 4】

図 1 の LAN 電話システムにおける LAN 電話端末の構成を示すブロック図である。

【図 5】

図 1 の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムの LAN 電話端末立ち上げ時の動作を示すフローチャートである。

【図 6】

図 1 の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムの LAN 電話端末による共有データの変更作業を示すフローチャートである。

【図 7】

図 1 の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムの端末管理装置による共有データの変更作業を示すフローチャートである。

【図 8】

図 1 の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムの管理者データの変更作業を示すフローチャートである。

【図 9】

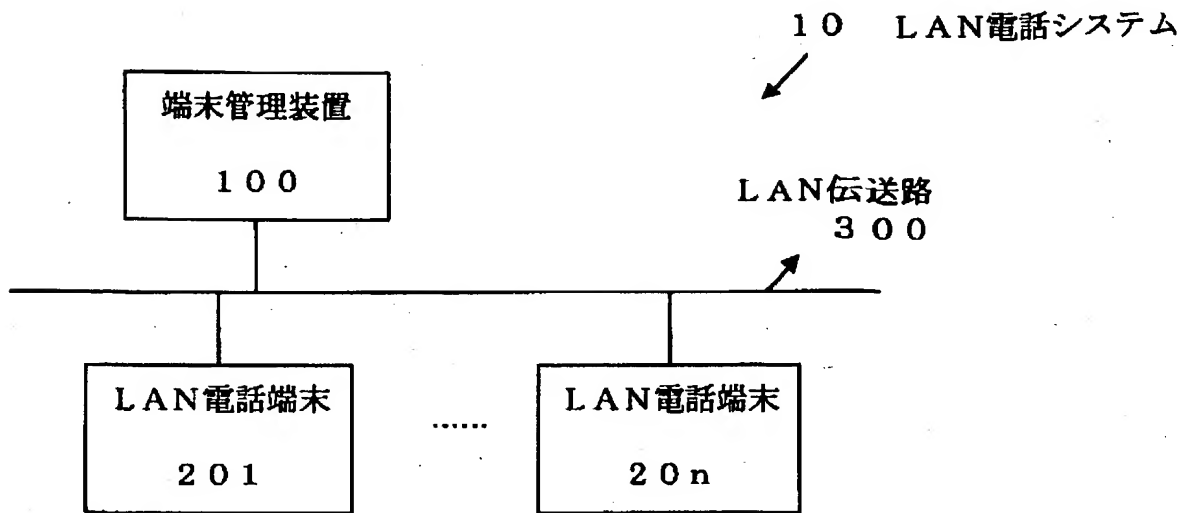
図 1 の LAN 電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムの端末データの変更作業を示すフローチャートである。

【符号の説明】

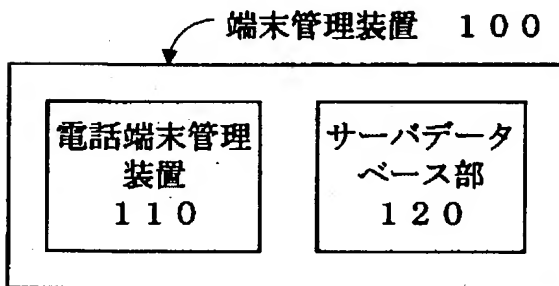
- 10 LAN電話システム
- 100 端末管理装置
- 110 電話端末管理装置
- 120 サーバデータベース部
- 201～20n LAN電話端末
- 210 呼制御部
- 220 端末データベース部
- 300 LAN伝送路
- 400 システムデータ
- 410 クラス1データ（管理者データ）
- 420（421～42n） クラス2データ（共有データ）
- 430 クラス3データ（端末データ）

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



【図3】

(a)

各LAN電話機のシステムデータ 400

クラス データ

410	1	サービス	番号計画			
420	2	LCD (発着信・ 通話中)	LED	ラインボタン	トーン	音声圧縮
430	3	着信音	LCD (待ち受け)			

(b)

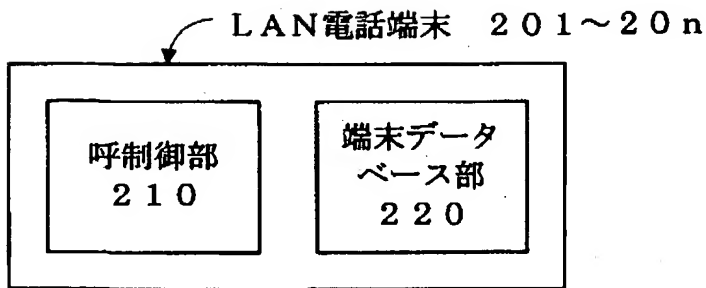
クラス2データ

420

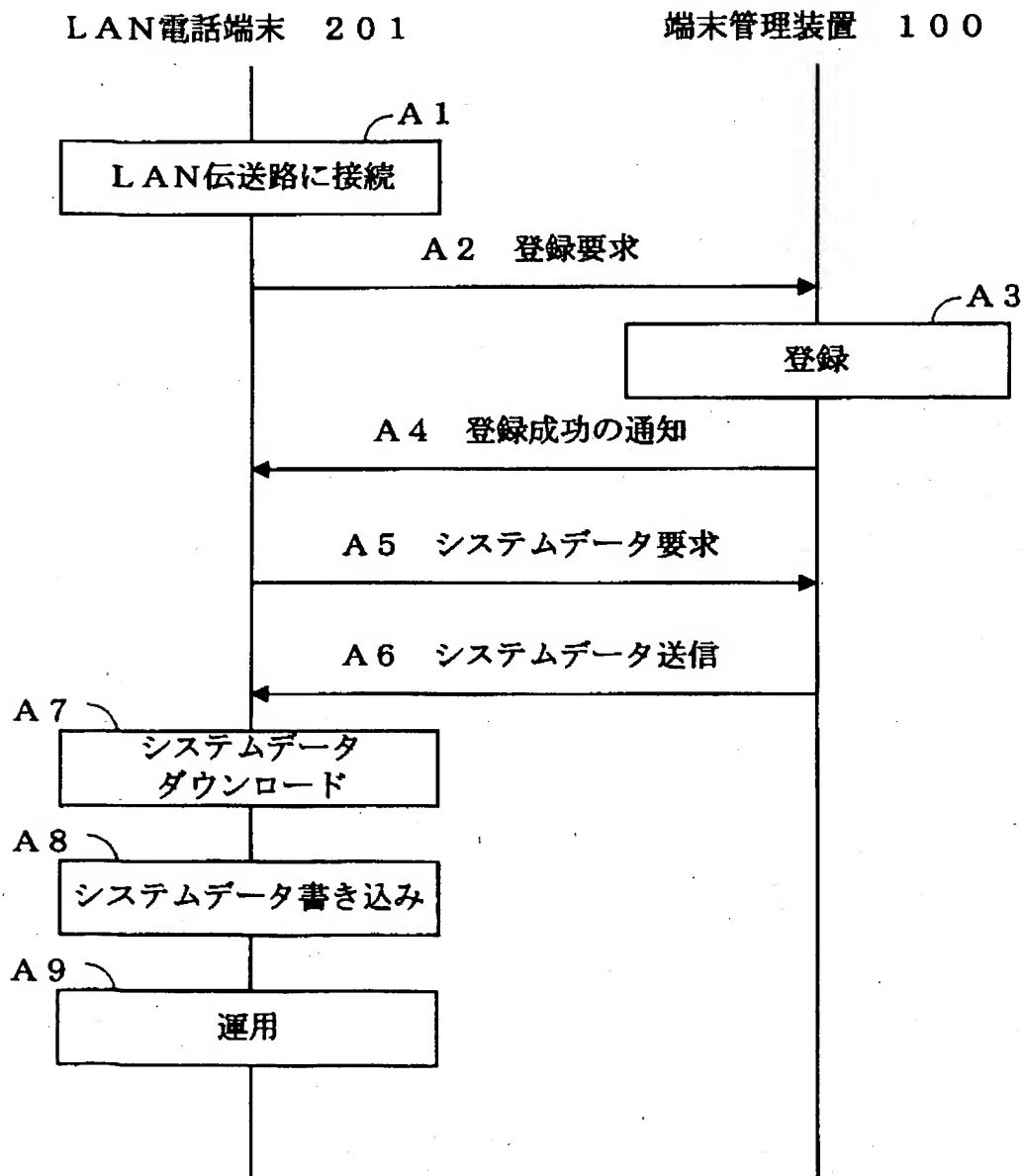
クラス データ

2	421	LCD (発着信・ 通話中)	LED	ラインボタン	トーン	音声圧縮
:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:
2	42n	LCD (発着信・ 通話中)	LED	ラインボタン	トーン	音声圧縮

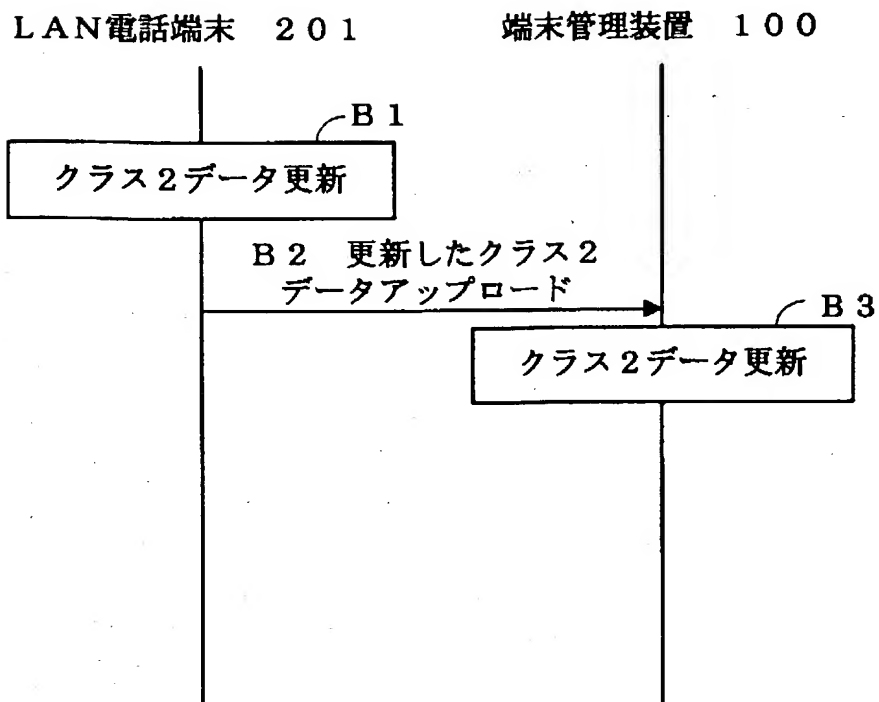
【図4】



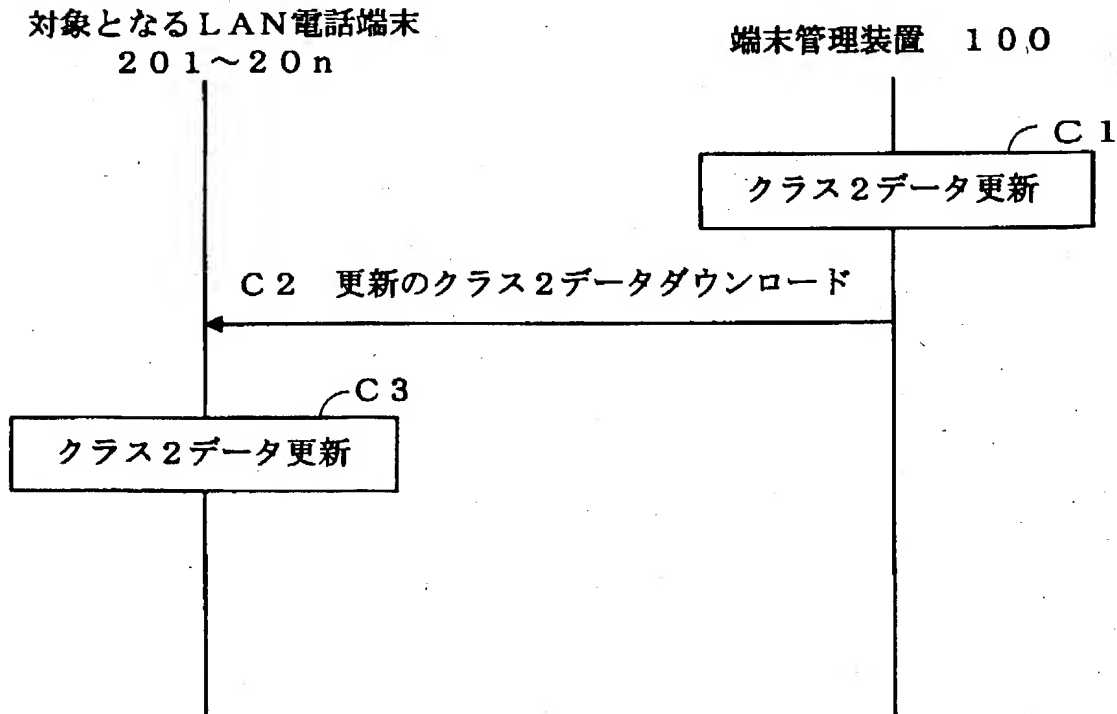
【図5】



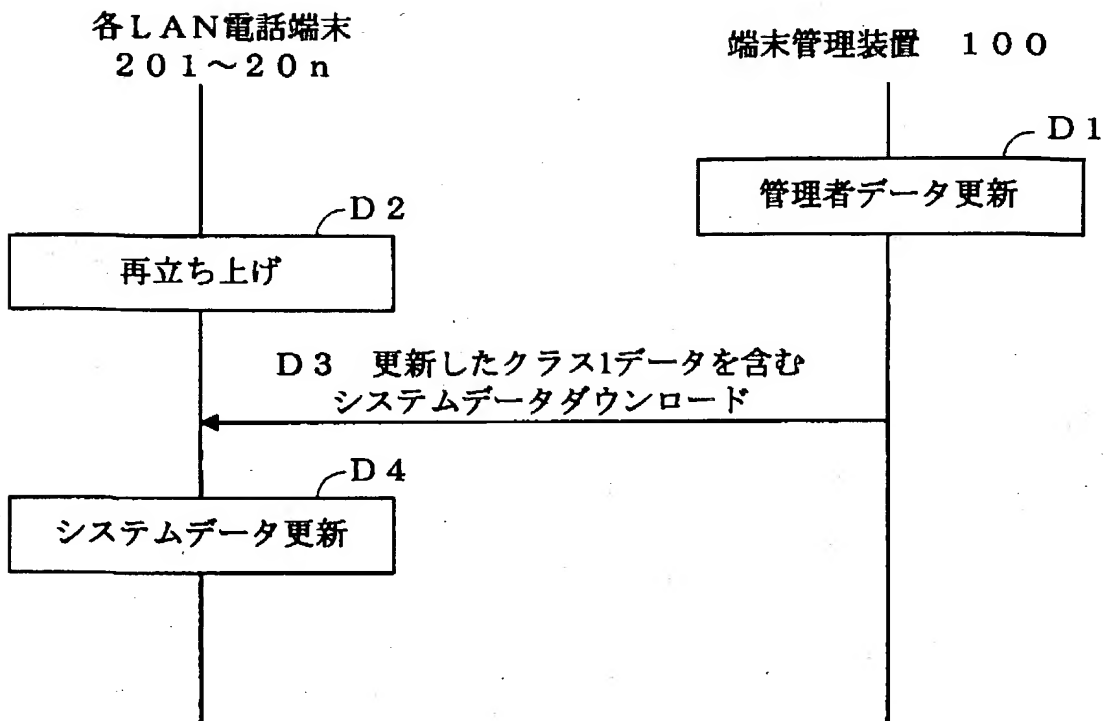
【図6】



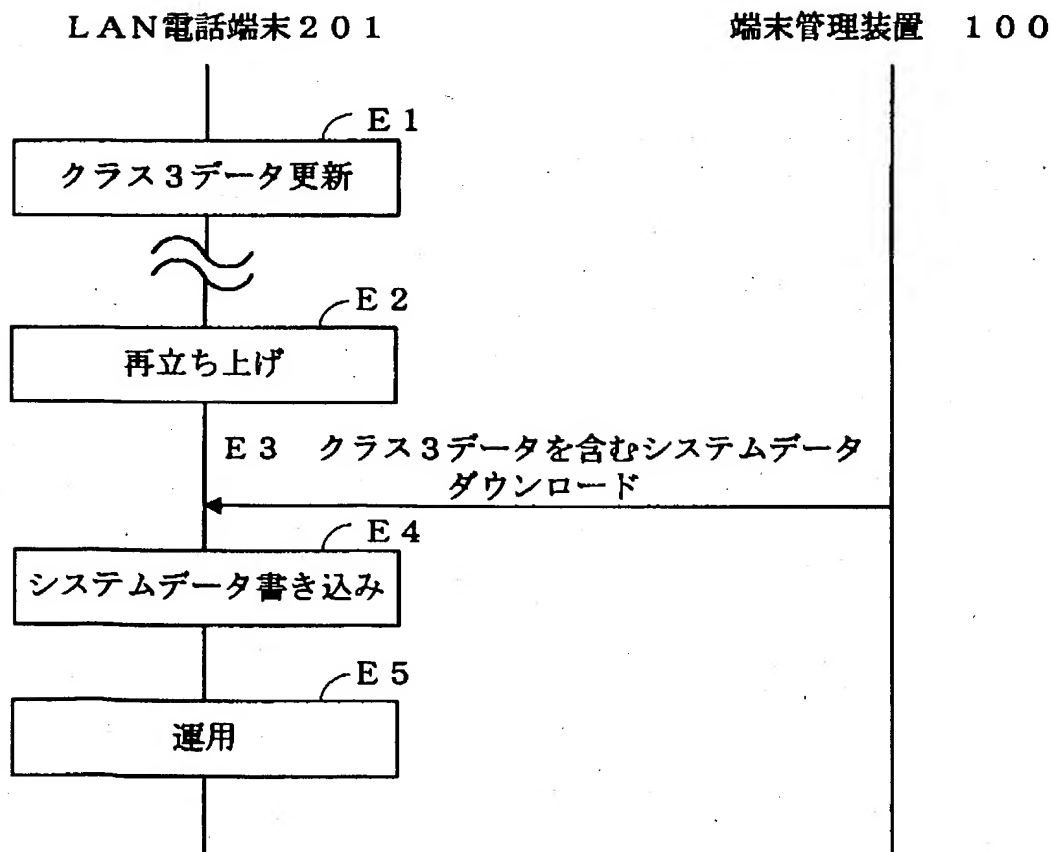
【図7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 各LAN電話端末にてシステムデータの変更を行なうことができるようにしたLAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムを提供する。

【解決手段】 LAN伝送路300に接続されている複数の端末装置201～20nと、各端末装置のシステムデータ400を管理する端末管理装置100とから成るLAN電話システム10におけるシステムデータ共有管理システムであって、LAN電話システムの運用のためのシステムデータ400の少なくとも一部420が、各端末装置201～20nと端末管理装置100で共有化されており、各端末装置201～20nが、共有化されているシステムデータ420の変更を行なうことができるように、LAN電話システムにおけるシステムデータ共有管理システムを構成する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名 日本電気株式会社